

平成30年度 特別研究推進費実績報告書

2019年 3月 18日

北九州市立大学長 様

(所属・職名) 法学部・講師

(氏名) 石塚 壮太郎

平成30年度に交付を受けた特別研究推進費に係る研究実績について、次のとおり報告します。

研究課題名	警察機関による国際テロリズムのための秘密裏の情報収集の手法と限界					
実施内容・研究成果の要旨 (概要書を別途添付)	<p>本研究では、今日必要不可欠となっている危険防止分野での対テロ警察活動が、どのような方法で、どの範囲で、どのような憲法上の条件の下でなされるべきかを明らかにした。</p> <p>その際、①連邦刑事庁法違憲判決のその後の動向を追いかけるとともに、②新たに規定された「電子足枷」がはらむ憲法問題について検討した。申請者は、すでに上述のドイツ連邦憲法裁判所判決について、2018年初めにドイツ憲法判例研究会で報告していた。同判決についてまとめ、2018年7月に判例紹介として雑誌に掲載した(拙著「連邦刑事庁による秘密裏の情報収集およびその利用・伝達に課される諸条件」自治研究94巻7号145-152頁)。さらに、同判決が示した秘密裏の情報収集に求められる諸条件について検討し、日本の議論との比較を行いつつ、ドイツにおける論争的な監視手法である「電子足枷」について、憲法上の許容性について検討した。その成果として、2018年12月15日に行われた「市民生活の自由と安全」研究会(慶應義塾大学と警察との協働研究)において、「ドイツにおけるテロ予防のための電子監視」と題した報告を行った。本報告の内容は、2018・2019年度の研究会の成果の一部として出版を予定している。</p>					
事項	合計	使用内訳(単位:千円)				
		備品費	消耗品費	報酬	その他	旅費交通費
交付決定額	680		384		1	295
支出金額	680		384		1	295
執行残額	0					
共同研究者	所属・職名		氏名		役割分担等	
	
	
	
	
	